

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 高齢者を中心とした市民の移動手段の確保について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 本市においてはコミュニティバス等の公共交通の取組が進められているものの、利用者の満足度は十分とは言えない状況である。 高齢化の進行により、免許返納後の通院・買い物・地域活動等における移動不安が顕在化しており、特に坂道が多い地域や高齢者が多い団地等では「バス停まで行くこと自体が困難」という声もある。 →次ページへ</p>	<p>(1) 高齢者を中心とした市民の移動に関する現状認識について</p> <p>(2) 既存公共交通の利用実態について</p>	<p>① 免許返納後の生活移動に関する課題について、どのように認識しているか伺う。</p> <p>② 特に坂道が多い地域や高齢者が多い団地等において「バス停まで行くことが困難な高齢者」が存在することについて把握しているか伺う。</p> <p>③ 免許返納の必要性が高まる中で、生活移動への不安が返納の妨げとなっているこの現状について、公共交通としてどのような対応が考えられるのか伺う。</p> <p>① コミュニティバス等の既存公共交通は、利用者にとって十分利用しやすいと認識しているか伺う。</p> <p>② 「乗換が困難」「バス停まで歩けない」といった声をどのように把握しているか伺う。</p> <p>③ 陶生病院等の主要施設への移動について、既存交通体系の中で利用者が無理なく利用できていると認識しているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>また、交通安全の観点から免許返納の必要性が高まる一方で、生活移動への不安から返納に踏み切れない現状も存在している。</p> <p>さらに国は、誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう地域包括ケアシステムの構築を進め、生活支援や社会参加を含めた地域づくりの重要性を示しており、移動手段の確保は介護予防や社会的孤立防止に直結する重要な課題となっている。</p> <p>以上を踏まえ、本市における高齢者の移動課題への認識と、今後の支援の方向性について伺う。</p>	(3) 高齢者の外出機会の確保について	<p>① 高齢者の外出機会の確保について、介護予防、フレイル予防の観点から、どのように位置付けられているのか伺う。</p> <p>② 現在、実証実験を行っている「品野おでかけバス」「本地おでかけバス」は、定時定路線とデマンド運行を組み合わせたハーフデマンド方式で、買い物帰りの荷物が多い高齢者が自宅近くまで送ってもらえるため利用勝手がよく、外出機会確保に有効だと聞いている。タクシー車両等を活用したデマンド運行を他地域にも拡げていく考えはあるのか伺う。</p> <p>③ 公共交通の事業として行われていた、AI オンデマンド交通事業「チョイソコセとあさひ」は、高齢者の外出機会の確保において非常に有効であり、利用者の満足度も高かったと聞いている。実証実験止まりで本格運行に至らなかった理由を伺う。</p> <p>④ 公共交通の導入については、高齢化率の高い地域から試行導入すべきであると考ええる。例えば、地域支え合い交通、予約型ミニバス、公共交通空白地域におけるAI デマンド交通等の実証実験を行う考えはあるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 移動支援政策の再構築について</p> <p>(5) 地域包括ケアとの連携について</p> <p>(6) 市長の基本的認識について</p>	<p>① 運転免許返納後に困ることの定量把握が必要である。免許返納後の移動実態調査を実施する考えはあるのか伺う。</p> <p>② 高齢者が安心して運転免許証を返納できる環境整備こそ、本質的な交通安全対策である。「返納促進」から「返納後支援」へ政策転換する考えはあるのか伺う</p> <p>① 地域包括支援センターが把握する移動困難高齢者の情報と交通施策との連携の必要性についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>① 本市の高齢者を中心とした市民の移動手段の確保について、今後、高齢者の移動支援施策としての方向性で取り組むのか、市長の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. ファミリーサポートセンター事業の充実について</p> <p><b>【質問趣旨】</b>            ファミリーサポートセンター事業は、地域で子育てを支え合う重要な制度である。            しかし、共働き世帯の増加など社会ニーズが変化する一方、援助会員の高齢化や、アナログな連絡調整による依頼会員（利用者）・援助会員・アドバイザー（行政）の負担が課題となっている。            →次ページへ</p>	<p>(1) ファミリーサポートセンター事業の現状と課題について</p> <p>(2) デジタル化（DX）と新たな担い手確保による利便性向上について</p>	<p>① ファミリーサポートセンター事業の依頼会員・援助会員数と利用状況及び報酬等の推移はどのような状況か伺う。</p> <p>② 援助会員の高齢化に伴う活動辞退や、平日の日中以外の「援助会員不足」について、市はどのような認識を持っているか伺う。</p> <p>③ 現在の電話や紙、手作業によるマッチング業務について、開所時間外の対応も含め、依頼会員・援助会員・アドバイザー（行政）のそれぞれに生じている課題について、市はどのように認識しているか伺う。</p> <p>① LINE 公式アカウントや専用アプリの導入による、いつでも申請・自動マッチング・進捗確認ができる仕組みへの転換について、他自治体の先進事例を参考に、導入を検討する考えはあるか伺う。</p> <p>② こども家庭庁の「子ども・子育て支援交付金」など、国からの財政支援（補助金・交付金）を最大限に活用し、市の持ち出し（初期投資）を抑えたシステム導入の手法を研究・検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>そこで、国が進める「こども政策 DX」の方向性や、こども家庭庁の「子ども・子育て支援交付金」等を活用した他自治体の LINE・アプリ導入事例を参考に、利用者及び援助会員の利便性を高め、持続可能な子育て支援体制へと発展させるため、本市の見解を伺う。</p>		<p>③ 子育てが一段落した世代や現役で働く世代も「隙間時間」に活動できるよう、オンライン・オフラインのハイブリッドな研修の導入等、新たな援助会員を確保するための具体的なアプローチは考えているか伺う。</p> <p>④ ファミリーサポートセンター事業のデジタル化を契機として、本市が目指す「伴走型子育て支援」及び「選ばれるまち瀬戸」に向けた今後のビジョンを市長に伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。